

～ 鬼怒川緊急対策プロジェクト ～

国、茨城県、常総市・つくばみらい市など7市町が主体となりハード・ソフトが一体となった緊急的な治水対策を実施します。

平成27年関東・東北豪雨を踏まえ、国、茨城県、常総市・つくばみらい市など鬼怒川沿川の7市町は、被害の大きかった鬼怒川下流域（茨城県区間）において、再度災害防止を目的として、決壊した堤防の本格的な復旧、高さや幅が足りない堤防のかさ上げや拡幅などの堤防整備、洪水時の水位を下げるための河道掘削などの「ハード対策」と、地域住民等も参加する危険箇所の共同点検の実施、広域避難に関する仕組みづくりなどの「ソフト対策」が一体となった治水対策を、『鬼怒川緊急対策プロジェクト』として実施しています。

これらにより、再度災害防止を図るとともに、「水防災意識社会」の再構築を目指します。

『鬼怒川緊急対策プロジェクト』の概要

【ハード対策】（事業費合計約600億円）

■再度災害防止に必要な河川整備を平成32年度完成を目指し、緊急的集中的に実施します。

【鬼怒川（直轄事業：国土交通省）】

○主な事業内容

- ・堤防整備（かさ上げ・拡幅）
- ・河道掘削

○事業期間

- ・平成27年度～平成32年度

○事業費合計

- ・約580億円

【八間堀川等（補助事業等：茨城県）】

○主な事業内容

- ・堤防整備（かさ上げ・拡幅）
- ・河道拡幅

○事業期間

- ・平成27年度～平成29年度

○事業費合計

- ・約23億円

【ソフト対策】（円滑な避難の支援）

■住民の避難を促すためのソフト対策を沿川自治体と連携して速やかに実施します。

○主な実施内容

- ・タイムラインの整備とこれに基づく訓練
- ・市町、水防団、地域住民等が参加する危険箇所の『共同点検』の実施。
- ・ハザードマップ及び家屋倒壊危険区域の公表と住民への周知とこれに基づく訓練
- ・関係機関の参加による広域避難に関する仕組みづくり

～鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会～

関係者が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に推進することにより「水防災意識社会」を再構築することを目的に協議会を平成28年2月に設置しました。

